



自社による試験方法及びその結果	<p><u>試験方法</u> ガラス容器内に水を満たし、その上部に試料を固定し、密閉させて 85 度の熱風チャンバー内に 6 日間放置しつつ、資料の腐食状態を確認する。</p> <p><u>試験結果</u> 純粋なアルミ、類似他社の不燃遮熱材では 1 日経過後から腐食を肉眼で確認できた他、放射率の増加も確認されたが、本製品については表面放射率が 0.06~0.10 であまり変化しなかった。</p>
-----------------	--